

科目名	【講義3】職業準備性とアセスメント	方法	講義・演習	時数	90分
-----	-------------------	----	-------	----	-----

1. 本科目のねらいと獲得目標

【獲得目標】

- ① 職業準備性と就業アセスメントに関する概念理解
- ② 就業アセスメントからの本人支援と環境における配慮に関する理解

【ねらい】

一般就職を支援するうえでアセスメントは欠かせないが、その手掛かりになるものが「職業準備性」と「職業準備性ピラミッド」である。この概念を理解しつつ、本人に関して面談や作業場面等を活かしながらアセスメントをし、就職に繋げていく事をここでは就業アセスメントと呼ぶ。本講義・演習では、就業アセスメントを通じて本人がどのような支援や環境があれば準備性が高まるのかを意識する。そして支援者は就業アセスメントを本人と共有することで、本人の職業能力、適性の理解を手助けし、就職していく上でのパートナーであることを理解する。

2. 本科目の概要と指導ポイント

科目概要

- (1) 職業準備性と職業ピラミッドを理解する
- (2) 就業アセスメントのプロセスを理解する
- (3) 演習を通じてアセスメントに関する本人提示の方法と支援内容と環境配慮について理解する

指導ポイント

- (1) 職業準備性は階層制であることを理解すること。しかし、その階層は企業で働くためのハードルではなく、支援や配慮点の見立てを立てる(就業アセスメント)ためのものであることを理解する(講義)。
- (2) 就業アセスメントには本人アセスメントと企業アセスメントがあることを理解する。また、そのプロセスは大まかに面接、作業場面、企業実習、就労場面の 4 つからなり、とりわけ作業場面でのアセスメントについて重点を置いて説明をする。作業場面では、面談では得られない本人理解の場であることを理解し、その視点を抑える。(講義)
- (3) 上記作業場面での視点をおさえ、本人の作業場面を実際に動画をみて、気づいた点等を確認し、本人へのフィードバックへつなげる。フィードバックでは本人へのプラスのフィードバックを伝える、その時点で本人が気づいていることを引き出す、支援者からの気づきを伝え、本人の職業適性等の理解に繋げる。さらに、本人の職業適性が広がるような支援や環境的配慮についても理解も促す(演習)
- (4) まとめ
 - ・就業アセスメントのプロセスのポイントを理解し、アセスメントが数値化することではないということを伝える。また、改めて就業アセスメントは本人との協働作業であること、支援員が本人への就職をする支援は、就職の機会の保証であることを理解する。

3. 本科目の展開例

本時の展開		
導入		この単元のねらいと全体の流れを説明する。
展開1	講) 5 分	<p>○職業準備性と職業準備ピラミッドの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業準備性は階層制であることの説明 ・職業準備性には絶対的基準はない事の理解と働くためのハードルではなく、支援方法、環境配慮の手掛かりとなるものであることの説明
展開2	講) 15 分	<p>○就業アセスメントの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業アセスメントのプロセスの説明 ・面談から作業場面でのアセスメントの解説 ・作業場面でのアセスメントについての解説
展開3	60 分	<p>○演習説明(5 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前配布している事例、アセスメント表(利用半年、利用2年)の確認。上記講義内容(特に作業場面でのアセスメント)を踏まえ、事例の方に対するアセスメントからフィードバック、さらにフィードバックを受けての支援内容、環境配慮を検討することを説明。 動画(作業場面)を見て演習シートのシート①を記載していく事を説明。 ・演習シートについて、支援者からの見立てを本人に伝えるローププレイに繋げることを説明。 <p>○動画(3 分):パソコン入力をしている対象者の方、周囲の話し声(電話)が気になる場面、確認場面、封入作業で付箋が貼ってある用紙を担当者に確認せずに封入する場面の提示</p> <p>○就業アセスメントの整理(個人ワーク)(7 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前資料、動画を見て演習シート①、フィードバックの配慮点をシート②に記載することを説明。次のグループワークで①と②を手掛かりにグループワークでフィードバックの内容と方法をまとめることの説明 <p>○就業アセスメントの整理と本人提示への準備(グループワーク 10 分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで本人提示役を決める。司会はグループの方でもファシリでもどちらでも可。 <p>○本人提示(1-2グループが全体の前で実演:15 分):本人はファシリテーターが行う。良い提示の仕方、好ましくない提示の仕方、ポイント資料を参照</p> <p>○気になる部分への方略の説明と個人ワーク(5分)</p> <p>講師が動画(作業場面)での気になる点について説明をし、それに対して演習シート③,④に記載する旨を伝える</p> <p>○気になる部分への方略についてのグループワーク(10分)</p> <p>○全体発表(5 分)</p>
展開4	10 分	まとめ:上記指導ポイントを押さえ、まとめを行う(スライドまとめ1-4)